週刊 地震ニュース

No.210

11月27日 ～ 12月3日

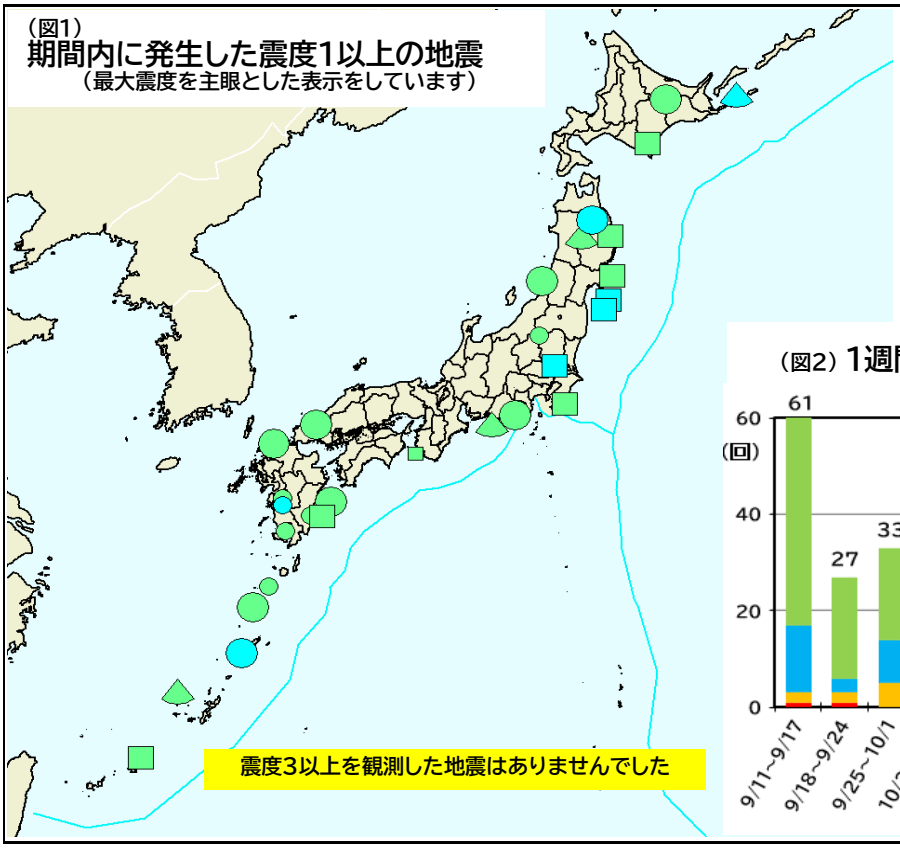
NPO法人 環境防災総合政策研究機構

2023年12月4日 発行

この期間の最大震度は2

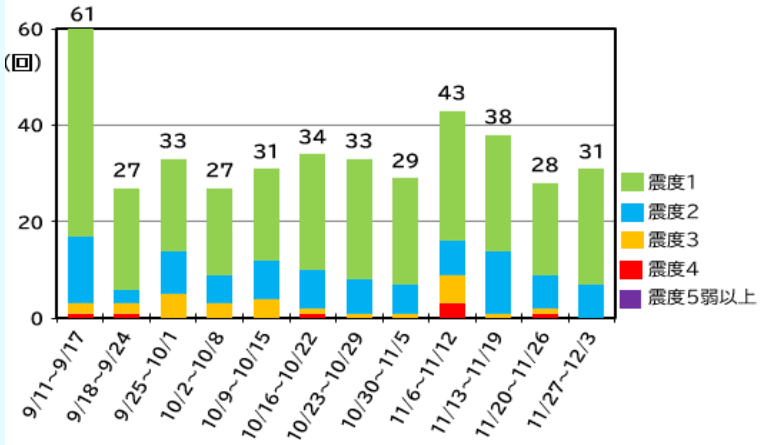
本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの　（出典：気象庁震度データベース/地震情報）

（図1）
期間内に発生した震度1以上の地震
（最大震度を主眼とした表示をしています）



最大震度	マグニチュード	深さ(km)
震度5弱以上	7.0	0
震度4	5.0	30
震度3	3.0	90
震度2		
震度1		

（図2）1週間毎の最大震度別地震発生回数



主な地震の発生状況（図1,図2参照）

■ この期間、震度1以上の地震が31回発生。最大震度は2。■
この期間の最大震度は2で穏やかな期間でした。

トピックス

■ フィリピン周辺の地震活動 ■

・12月2日23時37分頃、フィリピン南部のミンダナオ島東部でM7．7（気象庁発表）の地震が発生し、関東地方から四国、九州地方にかけて津波が観測されました。最大の高さは八丈島の0．4mで、千葉県館山市や鹿児島県奄美市などで0．2mの津波を観測しました。

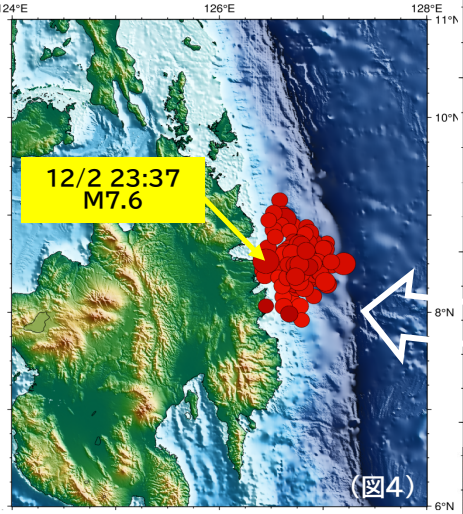
・この付近では、過去にもM7.2～7.4の地震により、沖縄から北海道にかけて20～30cmの津波を観測しています。

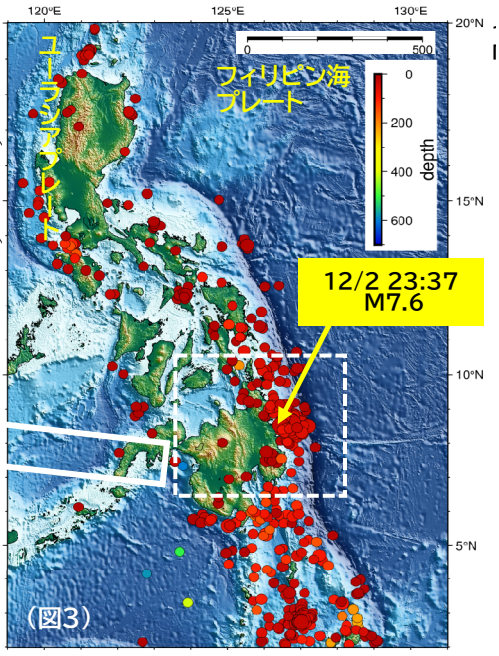
・この付近は、ユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込んでおり、この2つのプレートの境界で発生した逆断層型の地震と推定されます（日本付近で発生する地震と同様なタイプ）。

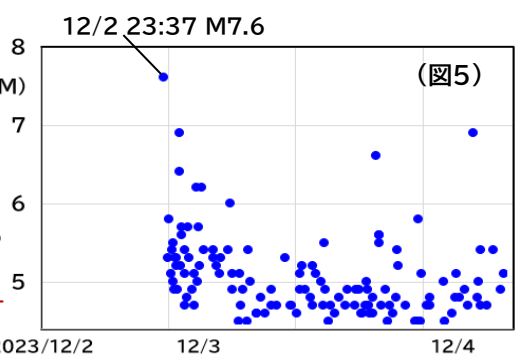
・フィリピンも日本と同様に、フィリピン海プレートやユーラシアプレート等のプレート境界に位置しており地震の多い国です（図3参照）。

・図4は、震源付近を拡大した今月2日からの震央分布図で、その発生状況を時系列で示したのが図5です。

・図5が示すようにM7．7（USGSはM7.6）の地震以降、M6以上の地震が7回発生しており、今後も活動が続くものと考えられ、津波を伴う地震が再度発生するおそれもありますので、気象庁から発表される情報に注意してください。







フィリピン周辺の地震活動　（USGSデータを使用）
図3：2023年1月1日～2023年12月4日08時　M≧4.5
図4：2023年12月2日～12月4日08時　M≧4.5
図5：図4の地震活動経過図（横軸：時間、縦軸：M）
※：気象庁発表とUSGS発表のMは異なることがあります